

4/16

二宮簡易郵便局、地域住民に寄り添い新局舎へ



(上) 4月17日業務開始した新局舎 (下) 旧局舎

4月16日(日)、二宮簡易郵便局舎移転開局セレモニーが行われました。主催者の按田町長をはじめ、豊頃町名誉町民の宮口孝氏や二宮西区区長の日下貴弘氏、郵便局関係者など10名が出席しました。

旧局舎は、昭和46年に供用が開始され、約半世紀の間地域住民に寄り添いながら年月を経てきま

した。按田町長は「開局当初からきわめて身近な生活に密着した郵便局であった。今でも地域住民にとってはなくてはならないもの。今後は、地域の皆さまの豊かな生活づくりの一助としてご利用いただくとともに、二宮報徳館併設という特徴を活かしながら活用していただきたい。」と挨拶しました。なお、旧局舎は、今年度中に解体する予定です。

4/17

豊寿大学入学・開講式



豊寿大学入学・開講式(教育委員会主催)がえる夢館はるにれホールで開催されました。今年の入学生は4名で、少し緊張した面持ちでしたが、これから始まる様々な学習の機会を楽しみにしている様子でした。書道科を受講する山下方理子さんは「発表会で飾られていた(書道科の)字を見て、同じような字を書けるようになりたいと思い入学した」と話していました。今年度の活動について、近年新型コロナウイルス感染症の影響で自粛していた修学旅行は1泊旅行を予定しています。

4/14

大津でサケの稚魚放流が行われました



大津小学校と大津保育所の子どもたちが、小学校近くの十勝川にサケの稚魚を放流しました。今回放流した稚魚は、小学校の水槽で児童らが毎日観察し日記をつけ、大切に育ててきたものです。児童らは協力し放流場所の川岸まで運んだあと、コップで稚魚をすくいトイを使って川に放流し、「大きくなって戻ってくることを願って見送りました。子どもたちは「大人になって戻ってきてほしい」や「育てたサケを放すのは少し寂しいけど大きくなって戻ってくるのが楽しみ」などと感想を話していました。

4/13

人権擁護委員が変わりました



4月1日付けで津久井淑子委員の後任として委嘱された鳥宮彰子さんへ、4月13日釧路地方法務局において、五十嵐支局長から委嘱状が手渡されました。

人権擁護委員は、法務大臣から委嘱を受けて人権相談を受けたり、人権の考えを広めたりする活動に従事している民間のボランティアです。

4/5

地域の身近な相談役 行政相談委員が変わりました



◀新たに行政相談委員となった高倉氏



4月1日付けで行政相談員に委嘱された高倉明さんへ、按田町長立会いのもと、釧路行政監視行政相談センターの間所長から委嘱状が手渡されました。新たに行政相談委員となる高倉委員は平成29年3月に役場職員を定年退職し、同年4月から今年3月末まで社会福祉協議会事務局長を務められました。間所長からは「地域の身近な相談員として活動を頑張ってほしい」と話しました。また、これまで20年間行政相談委員を務めた石邑良雄さんへ、感謝状が手渡されました。間所長からは「長きにわたり活発に活動をしていただき大変ありがとうございました」と石邑さんへねぎらいの言葉が送られました。

4/18

図書ボランティアによる 図書整理が行われました



地域と学校の連携事業(コミュニティスクール)として豊頃小学校の図書整理が行われました。参加した図書ボランティアの今村さんは「気軽に来て、気軽に本を手にとって楽しめる図書館にしたい」、同武野さんは「子どもたちにたくさん本に親しんでもらいたい」と話しました。町図書館では、豊頃小学校の本の整理などに協力して下さる図書ボランティアを募集中です。詳しくは町図書館まで。

4/12

新豊頃中学校校舎 供用開始



4月12日(水)豊頃小学校で入学式が行われ、新学期が始まりました。今年1年間、小学生児童が仮使用する新豊頃中学校校舎(2月15日完成)の使用が始まり、ピカピカの校舎内には元気いっばいの声が響きわたっていました。児童からは「すごくてのしい」「わくわくする」「いっぱい探検したい」「勉強がはかどりそう」などと話していました。

4/11

豊頃消防団石田団長へ辞令交付



豊頃消防団長3期目となる石田哲郎団長へ按田町長から辞令が手渡されました。石田団長からは「火災だけではなく、地震や津波など災害時はできる限りのことはしたい」との言葉がありました。

▽はるにれは見ていた 広報とよころ

議会だより

役場だより

▽はるにれは見ていた 広報とよころ

議会だより

役場だより